

わたしの「今年の漢字」2021

K.H. さん：「友」

コロナ禍で遠方の友には会えませんが、メールで複数の友としばしば近況や過去のことを語り合いました。

その中で、大学時代の一人の旧友が新たにメル友になってくれました。

どんなエンジニア生活をしたのか、定年後はどう過ごしたか、旅行や政治経済、語る題材はいくらでもあります。

こうして、今年、良い「友」を新たに得ました。

H.M. さん：「親」

ずっと元気だった母親が入院することになり、その間高齢の父親をひとりにしておくのも心配で、県外の実家にしばらく行っていました。今はもう回復して大丈夫なのですが、今まで遠いからと帰省することも少なかったもので、これからはできるだけ顔を出すようにしたり親孝行しなければと改めて思いました。

H.K. さん：「添」

91歳の母がだんだんと出来ないことが多くなり、手を添えることが多くなりました。晩年が寂しくないようにという気持ちで寄り添っています。

けれども今年は、その私たちも故障が続き、手を添えなければ歩けない日もありました。来年も元気な日ばかりではないかもしれませんが。ありがたいの言葉を添えて助け合っていきたいと思います。

M.T. さん：「慣」

マスクにすっかり慣れて、逆にマスクをしなくて良くなったら、化粧をしっかりしなきゃ…と思うほど、マスク生活に慣れてしまいました。

もう一つはオンライン、私はZoomやパソコンに慣れたということです。パソコンは本当に苦手だったのですが、やむを得ない状況から随分楽しんで使えるようになりました。スマホに関してはなくてはならない存在です。

と、言うわけで今年の漢字は「慣れた」の「慣」の字です!!

M.S. さん：「温」

初めての猫がうちに来て2年。戸惑いが安らぎに変わりました。とらの温もりを感じながら過ごす時間は幸せです。

今日も元気でいてくれてありがとうと語りかける毎日です。

T.S. さん：「再」

数年前から「アスリートの為の食べるケーキ」をコンセプトに、米粉を使い、現代栄養学を取り入れたお菓子を試作しているが、なかなかうまくいかず、現在休止中。というか気にもかけなくなっていた。ところが、今年オリンピックが開催され、再びこのことが頭をもたげてきている。思い起こせば、2008年リーマンショックによる世界的経済危機に続き、2011年の東日本大震災により当時世の中に

閉塞感が漂っているように感じていた頃、ちょうど広島県央商工会が「地産地消」をテーマに特産品開発のレシピを募集していた。そこで私は「おへそロール」というロールケーキのレシピを考案。コンセプトはズバリ「笑おう！」一笑ってモヤモヤを吹き飛ばそう！

「おへそロール」は同商工会に商標登録され、東広島市豊栄町にある牧場、トムミルクファームで商品化され、販売の運びとなった。開発にあたりヒントにしたのが広島県の中央部（へそ）に位置する豊栄町の夏祭り「どまんなか豊栄へそまつり」の名物「へそおどり」。お腹に様々な顔を描き、体全体を使って踊るへそおどりは、とてもユーモラスでそれぞれ思わず腹を抱えて大笑い。

このことによって、すっかり気をよくした私はノリノリで次作をと勇み、まず、通信教育で製菓衛生師の免許を取得。そこまでは順調だった。が、いざ試作を繰り返しても所詮素人、現実には思いが形にならず堂々巡り、かといって諦める踏ん切りもつかず、今日に至った次第。気が付けば長い年月が経ってしまった。さて、「食べるケーキ」のネーミング、販売する道の駅はもうとっくに決めている。そろそろ再スタートを切らなければ……。半歩でも前に進もう !!

N.H. さん：「謝」

結婚 50 年を迎えた。揃って健康に。感謝に堪えない。

この歳になると、一日一日を健康に過ごすことが最高にありがたい。

M.S. さん：「三」

今年フランス語検定 3 級に挑戦しました。

2019 年には簿記 3 級を取得しました。

両方とも実用に結びつく 2 級を取得する気力がないのが残念な性分です。

しかしここで開き直って「3 級の女」と名乗ることにします。

そして来年は「Thank you の女」として、皆様に感謝しながら過ごそうと思っています。

ということで、今年の漢字は「三」です。

R.Y. さん：「歩」

辞書の引き方もわからないところから 10 年。覚えの悪さを情なく思いながらも、仏検準 2 級にギリギリとはいえ受かりました。かたつむりの歩みでも、少しは前進しているのでしょうか。来年はドイツ語検定にも興味が出てきました。

H.B. さん：「決」

今年はコロナ禍にもかかわらず、オリンピックのボランティア参加を決めたり、36~7 年勤めた仕事を来年 3 月でリタイアすることを決めたり、私にとっては決断の年でした。